

●決算委員会審議内容

現在2回の公費負担妊婦
健診回数を増を

本市の妊婦健診受診率は約93%ですが、健診を受けていない人ほど、出産時に危険が伴うことが調査で明らかとなつていきます。国からは、5回分の予算措置が行なわれていますが、本市の妊婦健診の公費負担回数は2回のみです。全国や府下の平均と比べても回数が少ないことから、妊婦健診の公費負担の回数を増やすように求めました。

■府下妊婦健診の公費負担状況 08.7.1現在

| | | | |
|----|-------|----|-----------------|
| 1 | 大阪市 | 8回 | 超音波1回を含む(35歳以上) |
| 2 | 高槻市 | 5回 | |
| 3 | 茨木市 | 3回 | 21年4月~5回に拡充予定 |
| 4 | 摂津市 | 5回 | |
| 5 | 吹田市 | 6回 | 超音波1回を含む |
| 6 | 島本町 | 3回 | |
| 7 | 箕面市 | 5回 | |
| 8 | 池田市 | 3回 | |
| 9 | 豊中市 | 3回 | |
| 10 | 能勢町 | 5回 | |
| 11 | 豊能町 | 5回 | |
| 12 | 東大阪市 | 6回 | 超音波1回を含む(35歳以上) |
| 13 | 八尾市 | 2回 | |
| 14 | 柏原市 | 3回 | |
| 15 | 藤井寺市 | 2回 | |
| 16 | 松原市 | 5回 | 超音波1回を含む |
| 17 | 羽曳野市 | 3回 | |
| 18 | 富田林市 | 4回 | 超音波1回を含む |
| 19 | 河内長野市 | 5回 | |
| 20 | 太子町 | 3回 | |
| 21 | 大阪狭山市 | 4回 | 超音波1回を含む |
| 22 | 堺市 | 6回 | 超音波1回を含む(35歳以上) |
| 23 | 高石市 | 3回 | |
| 24 | 和泉市 | 3回 | |
| 25 | 泉大津市 | 3回 | |

| | | | |
|----|------|----|----------|
| 26 | 忠岡町 | 3回 | |
| 27 | 岸和田市 | 3回 | |
| 28 | 貝塚市 | 3回 | |
| 29 | 泉佐野市 | 3回 | |
| 30 | 阪南市 | 3回 | |
| 31 | 泉南市 | 3回 | |
| 32 | 熊取町 | 3回 | |
| 33 | 枚方市 | 5回 | 超音波3回を含む |
| 34 | 寝屋川市 | 7回 | |
| 35 | 交野市 | 2回 | |
| 36 | 四条畷市 | 3回 | |
| 37 | 大東市 | 3回 | |
| 38 | 門真市 | 3回 | |
| 39 | 守口市 | 2回 | |

・08.4.1現在 全国平均5.5回
・08.7.1現在 大阪平均3.5回

「入れ歯回収ボックス」
の設置で貧困から子ども
を救う取り組みを

入れ歯の金具や詰め物、かぶせ物には金・銀・パラジウム
の金属が使われており、「NPO法人」を通じ換金をする
ことができます。その収益を貧困で苦しむ世界のこ
どもたちに援助する取り組みが29の自治体です。す
められています。本市での「入れ歯回収ボックス」の設置を提
案しました。

予算増額で
学校図書館の充実を

国は「新学校図書館整備計画」に基づき、H19年度から市町村の学校図書館整備予算を増額しています。

しかし、本市の予算措置は59.5%（小学校80.1%・中学校35.5%）で、府下平均の70.3%、全国の78%に比べ低くなつて
います。



また市の図書行政予算も減り続け、H15年度は2千万円の予算が16年度は1千8百万円に、19年度はさらに減り1千6百万円になって
います。
増額予算は、学校図書館整備として使われるべきです。



生活困窮者への
「福祉灯油」の実施を

高齢者・障がい者世帯・母子家庭などの非課税世帯に対し、灯油購入費を助成する「福祉灯油」制度が、全国689（府下一市）自治体で取り組まれています。制度として、国からは50%、府・県からは25%の補助があり、市町村は25%の負担となっています。生活困窮者の人が少しでも暖かい冬を迎えられるよう、灯油代への助成を求めました。

あまだのみや幼稚園 廃園計画

パブリックコメントに
「廃園しないで」と195件の意見

あまだのみや幼稚園を平成22年度末で廃園にする市の方針について、9月に募集されたパブリックコメントには、市民から195件もの意見が寄せられました。

主な意見は、「子どもの数が減るからと幼稚園をなくせば、よけい少子化がすすむのでは」「幼稚園と小学校の連携が弱まるのが心配」「病後児保育の中身が分からない」など、ほとんどが廃園に反対する意見でした。

市は、こうした市民の多数の声に耳をかたむけ、廃園の計画は白紙にもどすべきです。